

視聴覚教育

NO. 473

発行日

R4. 6. 1

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？

学校DX(デジタル・トランスフォーメーション)

学校が、デジタル技術を活用して、学習のあり方等を革新するとともに、教職員の業務や組織を革新し、時代に対応した教育を確立すること。単に今までの業務をデジタル化するのではなく、デジタルを用いて在り方を変革しようとする発想。

Ⅱ視聴覚教育あれこれⅡ 令和四年度 学習情報部方針 研究主題

デジタル・シティズンシップを高め、Society 5.0を伸びやかに生きる子供の育成
学校のDX推進による、「岡崎版GIGAスクール構想」の実現を通して

研究の重点

①【各教科・領域の授業で横断的に進めるデジタル・シティズンシップの育成】

・ICTの効果的な活用による、情報活用能力の育成に関する研究

・ICTの効果的な活用による、各教科・領域の学びを深める研究

②【教師のICT活用指導力の向上と、効率的な校務の実現】

・教師のICT活用指導力の向上と、ICT活用による効率的な校務の実現

各部会の主な活動

〔広報部会〕

・各種調査の実施と調査結果や分析の広報
・月報「視聴覚教育」など視聴覚ライブラリー発行物の編集協力

・教育に関わるICTの各種マニュアルを作成

・検証・既存マニュアルの更新

〔授業研究部会〕

・一人一台タブレット端末の活用による「誰一人取り残さない教育」の実現に向けた実践と報告
・情報モラル指導や情報活用能力育成推進のための研究

・視聴覚ライブラリーの教材・機材の効果的な活用方法の研究

〔研修部会〕

・教師のICT活用指導力向上に向けた研修の計画・実施
・教育活動や校務における有効なICT利活用

デジタル・トランスフォーメーション(DX)

新香山中学校 校長 小田 哲也

愛車をこすってしまった。しかも昨年が続いて二回目。相手は車止めの花崗岩。長石や雲母の粒からして、間違いなく岡崎米河内産だ。こいつは固い。傷が深いわけだ。原因はバックモニターだ。モニターを見ながらバックしたら、写っていないかった車の左側面を「やつ」にやられた。昨年もそうだった。バックモニターを頼りにバックしたら、サイドミラーをこすって割ってしまった。以前乗っていた車には、そんなお世つかいな機能はなかったので、頼りは目視だけだった。十七年も乗っていて一度もこすったことがなかったのに。デジタル・トランスフォーメーションが進んでも、結局「責任は自分にある」のだ。泣く泣く修理費を払ってきた。

デジタル・トランスフォーメーションとは、二〇〇四年にスウェーデンのストルターマン教授が「進化したデジタル技術で生活をより良いものへと変革すること」と提唱した概念で、Society5.0に発展した。愛車を傷つけた私でいうと、進化したデジタル技術を「生活の変革」に生かしていた「つもり」だったようだ。

本市では、子供がタブレット端末を使わない日が無いぐらい、頻繁にデジタル利用をする。特に新型コロナウイルスの影響で、オンライン学習なんて当たり前で、画面の向こうから子供が発言している。今年度は、中学校の教室に電子黒板が入ってくる。画面が大きくなり、複数画面表示や他の機器との連携もできる。でも自動車のバックモニターのように死角はあるし、できないこともある。これらを使って「変革」するのは私たち利用者だということを実感したい。

生活でデジタルを使わない選択はすでない。でも私たちにとってデジタルは「都合の良い道具」として付き合うぐらいがいい。メールやSNSは便利だけど、テキストだけだと誤解を招きやすくて問題が絶えない。デジタルの良さを生かして使うこと、アナログ利用がやっぱりいいというものを使い分けることが、今後の変革をしていく私たちの資質なのだろう。

愛車が直ってきてもバックモニターを使わないわけではない。気を付けていることは、ルームミラーとサイドミラーで「確認」するという教習所で教えてもらった基本だ。高い修理費と引き換えに、デジタル・トランスフォーメーションの意味がだいぶわかってきた。

Ⅱ令和四年度 学習情報部組織Ⅱ

部長

小田 哲也（新香山中）

岡 秀之（羽根小）

塚谷 保（藤川小）

教育委員会担当

杉坂 和俊（教育政策課GIGAスクール戦略係）

川本 祐二（教育政策課GIGAスクール戦略係長）

視聴覚ライブラリー

近藤 雄一（所長補佐）

指導員

河合 泰宏（東海中） 太田 尚志（藤川小）

世話係

鈴木 広樹（矢東小） 鈴木 一史（竜海中）

各部会世話係

〔広報部会〕

鈴木 一史（竜海中） 岩川 皓司（竜南中）

石谷 遼一（生平小） 鈴木 由理（小豆坂小）

〔授業研究部会〕

水野 利明（矢作中） 青山 夕菜（羽根小）

〔研修部会〕

鈴木 広樹（矢東小） 杉山 康子（常磐小）

服部 将也（豊富小） 鈴木奈穂子（新香山中）

鈴木 俊宏（男川小） 神谷 明彦（三島小）

忠内 亮太（大門小） 杉下 尚（美川中）

各種大会

・研究会の案内

《研究会》

・おかざきツズ プログラミング・フェスタ2022

7月26日（火）総合学習センター

・三教研ICT活用研究会

8月5日（金）田原市文化会館

・県放送教育特別研究会

8月26日（金）ウイंकあいち

《研修会》

・授業力・教師力アップセミナー

【基礎編】7月27日（水）

【応用編】8月3日（水）

・学習情報部自主研修会「TAV」（随時）

・ちゅうでん教育振興助成（6月13日（月）締切）

・パナソニック教育財団実践研究助成

（例年1月中旬締切）

※県や市の教育論文をはじめ多くの機会があります。日頃の実践成果をまとめてみましょう。

《コンクール》

・ふるさと岡崎メディアコンクール

・ICT夢コンテスト など

《児童・生徒のコンクール》

・ふるさと岡崎メディアコンクール

・NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会

・アジア国際子ども映画祭

・キューブ活用コンテスト

・パナソニックKWN日本コンテスト

など

ライブラリーだよ

所長

福澤 純子

所長補佐

近藤 雄一

職員

鳥居 貴浩

山本 やよい

学校、そして視聴覚ライブラリーも新メンバーを迎えるのスタートとなりました。

今月号では視聴覚ライブラリーが行っている、視聴覚・情報教育に関する主な支援内容を紹介します。

●情報モラル出前講座

●視聴覚ライブラリーでは児童生徒や保護者を対象に「情報モラル出前講座」を随時行っています。内容はネットトラブルに関する情報提供や注意喚起などです。開催希望がありましたら、右記載の連絡先にお問い合わせください。

●配信・Web会議支援

新型コロナウイルス感染症防止対策として日常的にTeams配信やWeb会議が行われるようになりました。そこに必要な各機器接続用のケーブルやビデオカメラの貸出を行っています。準備の段階で御相談ください。

●教材の貸出

視聴覚ライブラリーは貸出用教材（デジタルコンテンツ含む）を保有しています。検索は、各校にある教材目録か視聴覚ライブラリーHPを御利用ください。巡回郵便での貸出・返却が可能です。



連絡先 岡崎市
視聴覚ライブラリー
23-6789